

資料 1 - 2

松山クリニック

様式

事業計画書（単独支援給付金）

鹿児島県知事 殿

単独支援給付金の支給を受けたいので、下記のとおり事業計画書を提出します。

また、下記3の「支給申請に関する誓約事項」について誓約します。

1. 申請者の情報		申請年月日	令和3 年 6 月 30 日	
フリガナ	イリョウホウジン ショウワカイ マツヤマクリニック	医療機関の 住所・所在地	〒 891 - 0102	
医療機関の名称	医療法人 松和会 松山クリニック		鹿児島市星ヶ峯4丁目3番2号	
フリガナ	リゾチヨウ マツヤマミル	事務担当者	職・氏名	理事長 松山 稔
開設者 <small>(代表者の職・氏名も記載)</small>	理事長 松山 稔		電話番号	099-265-2411
			ファクシミリ	099-275-1281
			電子メール	cukkutibo@nils.jp

2. 支給申請額

支給申請額(千円)	22,800
-----------	--------

3. 支給申請に関する誓約事項

- (1) 本給付金に関する報告や調査について、厚生労働省又は県から求められた場合には、これに応じます。
- (2) 本給付金の給付後、以下の①から③に該当した場合は、本給付金の全額又は一部を返還します。
- ① 単独病床機能再編計画に記載の内容について達成が見込めなくなった場合
 - ② 給付金の支給を受けた日から令和8年3月31日までの間に、同一の構想区域に開設する医療機関において対象3区分の許可病床数を増加させた場合（ただし、特定の疾患に罹患する者が多くなる等の事情により、厚生労働大臣及び都道府県知事が特に認める場合に許可病床数を増加させる場合はこの限りではない。）
 - ③ 申請内容を偽り、その他不正の手段により給付金の支給を受けたと認める場合
- (3) 暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有しておりません。

(添付書類)

- ① 病床稼働率算出の根拠となる平成30年度病床機能報告の写し又は令和元年度の病床機能報告の写し等
- ② 地域医療構想を達成するために必要な病床数の削減であることの説明書（別添「単独病床機能再編計画書」）
- ③ 過年度に申請した単独支援給付金支給申請書兼口座振込依頼書の写し（過年度に「令和2年度病床機能再編支援補助金における令和2年度地域医療構想を推進するための病床削減支援給付金」又は「地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業のうち単独支援給付金支給事業」により支給を受けている場合に限る。）

■支給申請額算定シート

1	再編前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※3)の合計
	① 平成30年度病床機能報告				14	3	17	14
	② 令和2年4月1日時点(※1)				10	7	17	10
	③ 再編前病床数=②(※2)	0	0	0	10	7	17	10

- ※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。
- ※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいずれか少ない方を基準とする。
- ※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	再編後の許可病床数 (=再編後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
				0		0	0	0

3	他の医療機関との病床融通数 (※4)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
	うち同一開業者の医療機関との病床融通数		0		0	0
						(0)

- ※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。
また、「(参考) 病床融通に関する概要」シートに関連する医療機関の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	減少病床数 (1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	0	0	10	7	17	10

6	過去に 令和2年度病床機能再編支援補助金 及び本事業で支給済の病床数	支給済病床数	5.減少数	4.うち転換数	6.支給済数	3.うち他院への 融通数	支給対象
				10	0	0	(0)

7	再編前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告		2		15		17	17
	② 令和2年4月1日時点(※5)		2		15		17	17

- ※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

8	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※6)			3,790	3,790
	② 令和2年4月1日時点(※7)				0

- ※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数 = 年間在棟患者延べ数(48)欄に記載された数値 ÷ 報告可能な対象期間(月単位) × 12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位) = 6

- ※7 7の①と7の②の値が同じ場合は8の②の入力は不要。

9	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
	A 平成30年度病床機能報告	61.0%	10	
	B 令和2年4月1日時点	0.0%	0	

10	再編前の対象3区分の稼働病床数 から一日平均実働病床数までの減 少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		1,596	0	0

11	一日平均実働病床数から再編後の 対象3区分の許可病床数までの減 少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,280	10	22,800

要件 審査	90%減少チェック	○
----------	-----------	---

12	支給申請額(千円)	22,800
----	-----------	--------

(別添)

単独病床機能再編計画書

作成日：令和3年6月28日

(医療機関名)

医療法人 松和会 松山クリニック

1 本事業にかかる単独病床機能再編医療機関の概要

医療機関名称	医療法人 松和会 松山クリニック
開設主体	医療法人
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯4丁目3番2号
構想区域	鹿児島構想区域
許可病床数	総許可病床数 17 急性期 2床, 慢性期 15床 休棟 0床
稼働病床数	総稼働病床数 10床 慢性期 10床 休棟 7床
1日あたり患者数 (稼働率)	入院患者数 10人/日 (61.0%) 外来患者数 13人/日
標榜診療科	外科, 内科, 胃腸科
職員数	19人
(医師)	1人
(看護職員)	11人
(専門職)	4人
(事務職員)	3人

2 構想区域における現状と課題

説明文・・・鹿児島構想区域については、鹿児島県保健医療計画(平成30年度～令和5年度)の概要には病床数は回復期以外の病床(高度急性期、急性期、慢性期)が過剰の状態にあり、回復期医療機能病床の不足をはじめ病床機能再編が必要とされています。また、在宅医療の需要の増加にも対応が必要とされていると考えられます。但し医師、看護師の確保が大きな課題である。

【図表7-3-4】病床機能報告の結果と平成37(2025)年の病床の必要量(必要病床数)

構想区域	医療機能	2016年度	2025年における医療供給(医療提供体制)				
		既存病床数(床)	当該構想区域に居住する患者の医療需要(人/日)	既存の医療提供体制が変化しないと仮定し、患者の流出入が現状のまま継続するものとして推計(人/日)	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ、他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減して推計(人/日)	病床稼働率	病床の必要量(床)
鹿児島	高度急性期	1,372	535.6	736.3	736.3	75%	982
	急性期	5,430	1,737.0	2167.2	2167.2	78%	2,778
	回復期	1,585	2,606.2	3076.1	2592.0	90%	2,880
	慢性期	3,408	2,058.7	2147.3	2064.5	92%	2,244
	休棟率	387	-	-	-	-	-
	計	12,182	6,937.5	8,126.9	7,560.0	-	8,884

3 病床機能再編計画の概要

(地域医療構想の実現に向け必要な取組であることを示す内容とする)

計画概要説明文・・・当医療法人において、将来の医療圏ごとに病床数があるべき数となって、地域住民に効率的な医療を提供されるような取組をすることが重要と考え、また、前述の医師看護師の人材確保の厳しさもあり、以前より連携をしていた総合病院の協力のもと入院患者の受入れをお願いし、令和3年2月時点より一時、入院患者をゼロにしております。今後は令和4年3月を目途に自主的に病床の削減、廃止を行うことを予定。

平成30年度 病床機能報告 (平成30年7月1日時点)	機能	許可病床数	稼働病床数		
	高度急性期	床	床		
	急性期	2床	0床		
	回復期	床	床		
	慢性期	15床	14床		
	休棟等	床	3床		
	病床数合計	17床	17床		
↓				平成30年7月1日時点から 下記移床・転換がある場合に記入	
令和元年度 病床機能報告 (令和元年7月1日時点)	機能	許可病床数	稼働病床数	同一開設者の医療機関への 病床融通数	介護医療院への転換数
	高度急性期	床	床	床	床
	急性期	2床	0床	床	床
	回復期	床	床	床	床
	慢性期	15床	10床	床	床
	休棟等	床	7床	床	床
	病床数合計	17床	17床	床	床
↓				令和元年7月1日時点から 下記移床・転換がある場合に記入	
令和2年 4月1日時点	機能	許可病床数	稼働病床数	同一開設者の医療機関への 病床融通数	介護医療院への転換数
	高度急性期	床	床	床	床
	急性期	2床	0床	床	床
	回復期	床	床	床	床
	慢性期	15床	10床	床	床
	休棟等	床	7床	床	床
	病床数合計	17床	17床	床	床



病床機能再編完了時点	機能	許可病床数	稼働病床数	令和2年4月1日時点から 下記移床・転換がある場合に記入	
				同一開設者の医療機関への 病床融通数	介護医療院への転換数
	高度急性期	床	床	床	床
	急性期	0床	0床	床	床
	回復期	床	床	床	床
	慢性期	0床	0床	床	床
	休棟等	床	床	床	床
病床数合計	0床	0床	床	床	

4 具体的計画について

単独病床機能再編後の診療体制

説明文・・・許可病床数は17床であるが、単独病床機能再編計画に基づいて、過剰である慢性期の病床を休床の病床を含め自主的な病床削減を行う事により単独病床機能再編後の病床数を0床とする予定。入院患者については前述の通り、以前より連携のあった総合病院に転院済みであり現在入院患者はゼロの状況。今後、経営資源を外来及び在宅医療に向けることを検討中。若手の医師確保や事業承継も視野に入れ、地域の実情に応じた医療提供体制の構築に努めたいと考える。

医療機関名称	医療法人 松和会 松山クリニック	
構想区域	鹿児島構想区域	
許可病床数	0床	
区分ごとの病床数	高度急性期	0床
	急性期	0床
	回復期	0床
	慢性期	0床
標榜診療科	外科, 内科, 胃腸科,	

単独病床機能再編完了予定年月日

説明文・・・病床機能再編支援事業の活用希望申請を行い、事業や人員等の再編を進め、令和4年3月31日には病床削減し、単独病床機能再編完了の予定。

単独病床機能再編完了予定年月日	令和4年3月31日
-----------------	-----------